

はじめに

West Tokyo Heart Failure (WET-HF) Registry は我が国の循環器内科専門施設で実施されている急性心不全入院患者の多施設共同レジストリ研究です。初期のシステムは 2006 年に慶應義塾大学の吉川勉先生と小出希美先生を始めとする諸先輩のご努力により構築され、その後 2011 年から多施設共同レジストリとして杏林大学と榊原記念病院が加わり現在のフォーマットが固定しました。2013 年の今回のプロジェクトの発足を契機に聖路加国際病院と国立循環器病研究センターの登録が始まりました。

本研究班はこの WET-HF レジストリ研究を継続し、特に急性心不全患者の中でも重篤とされる腎機能低下例のリスク要因を解明し、診療ガイドラインの実施の現状把握とその改訂に役立てていただくことを目標として、平成 26 年夏から開始されています。本研究期間中に心機能の指標そのものの影響、あるいは腎臓以外の臓器との関連を検討することも大きな課題の一つです。

この他に、諸外国の国際的なレジストリと歩調を合わせていくことも重要な目標として掲げており、本年は英国の Hull 大学 (John F. Cleland 先生) における登録データとの比較を開始しております。いずれは米国や他の欧米諸国との比較等も視野に入れ、国際的な診療ガイドラインへの提言なども行っていけるものと考えております。

本研究に協力いただいております各施設の責任医師、研究者、そして臨床研究コーディネーターの方々とは良好な協力関係を築くことができ、今後も高い登録率と追跡率を維持できるように努力を続けていきます。また、定期的にデータ解析とその発表計画を整備し、特に実際に心不全の診療に最前線で携わる若手医師への啓蒙活動に重点を置いていく予定です。そうした若手医師の中から実際に臨床研究のデザインや統計解析を行い、学術論文を出版し成果を出す者も徐々に出てきております。

最後になりましたが、本研究は多方面にわたる多くの皆様のご尽力とご協力の上に成り立っています。この場をお借りして関係者の方々、ならびに協力いただきました患者様すべてに厚く御礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

研究代表者

慶應義塾大学 内科 第一三共心血管炎症学寄附講座 特任講師

香坂 俊